

PX-S840

操作ガイド

NPD5364-02

もくじ

マニュアルの見方

マニュアルの見方.....	4
記号の意味.....	4
表記.....	4
ご注意.....	5

操作部の名称と働き

本体.....	6
前面.....	6
内部.....	7
背面.....	7
操作パネル.....	8
画面の見方と使い方.....	9
メニューと設定項目.....	10

印刷用紙とセット方法

印刷用紙.....	16
印刷できる用紙.....	16
印刷できない用紙.....	18
取り扱い上のご注意.....	18
用紙のセット方法.....	19
用紙カセット.....	19
背面 MP トレイ.....	22
増設カセットユニット（オプション）の取り付け.....	24

メンテナンス

インクカートリッジの交換.....	26
メッセージ表示前の交換.....	26
メッセージ表示後の交換.....	26
インクカートリッジに関するご注意.....	28
純正インクカートリッジのお勧め.....	29
インクカートリッジの回収.....	29
インクカートリッジの廃棄.....	30
ノズルチェックとヘッドクリーニング.....	30
メンテナンスボックスの交換.....	31
内部のクリーニング.....	33
内部のクリーニング（印刷物が汚れる場合）.....	33
内部のクリーニング（用紙が正しく給紙されない場合）.....	34
輸送方法.....	34

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方	36
プリンター背面部	36
プリンター内部	37
用紙カセット部	38
メッセージが表示された	39
トラブルへの対処	39
電源 / 操作パネル	39
給紙 / 排紙	40
印刷品質	40
その他のトラブル	40

製品仕様とご注意

製品仕様とご注意	42
総合仕様	42
インクカートリッジ型番	43
インクの消費	43
有線 LAN	43
無線 LAN	44
印刷領域 (単位 mm)	44
規格 / 規制	45
商標	46
著作権	46
ご注意	47

サービス / サポートのご案内

サービス / サポートのご案内	50
エプソンサービスパック	50
保守サービスのご案内	50
保守サービスの種類	51
お問い合わせ先	52






お問い合わせ先

お問い合わせ先	54
---------------	----

マニュアルの見方

マニュアルの見方

記号の意味

マーク	内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足情報や参考情報を記載しています。
	参照（ガイド内） 関連したページへジャンプします。
	参照（ページ内） ページ内の項目へジャンプします。
【 】	ボタン名を示します。

表記

- Microsoft(R) Windows(R) XP operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Vista(R) operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 7 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 8 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 operating system 日本語版

本書では、上記の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows 8 ※ 1」「Windows Server 2003 ※ 2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2012 ※ 3」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

※ 1 Windows 8.1 含む

※ 2 Windows Server 2003 R2 含む

※ 3 Windows Server 2012 R2 含む

本書中では、OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」、OS X Mountain Lion を「Mac OS X v10.8.x」、OS X Mavericks を「Mac OS X v10.9.x」と表記しています。

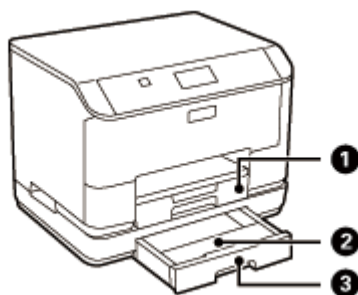
ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

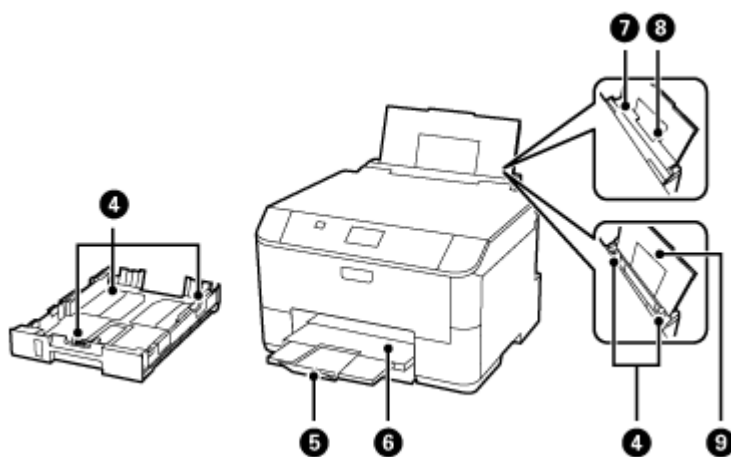
操作部の名称と働き

本体

前面



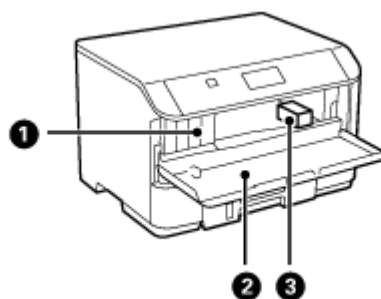
名称	働き
① 用紙カセット 1	A5 サイズ以上の普通紙をセットします。 ➔ 「印刷できる用紙」 16 ページ
② 用紙カセットカバー	用紙カセット 2 に装着するカバーです。
③ 用紙カセット 2	オプションの増設カセットユニットです。 B5 サイズ以上の普通紙をセットします。 ➔ 「印刷できる用紙」 16 ページ



名称	働き
④ 用紙ガイド	用紙の側面に合わせます。
⑤ ストッパー	用紙が飛び出さないように保持します。

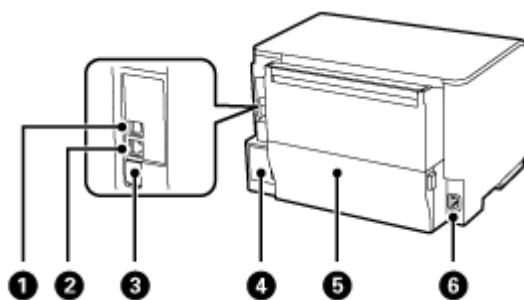
	名称	働き
⑥	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。
⑦	給紙口カバー	内部に異物が入ることを防ぎます。通常は閉めておいてください。
⑧	背面 MP トレイ	印刷する用紙をセットします。 使用できる全ての印刷用紙をセットできます。 ➔ 「印刷できる用紙」 16 ページ
⑨	用紙サポート	セットした用紙を支えます。

内部



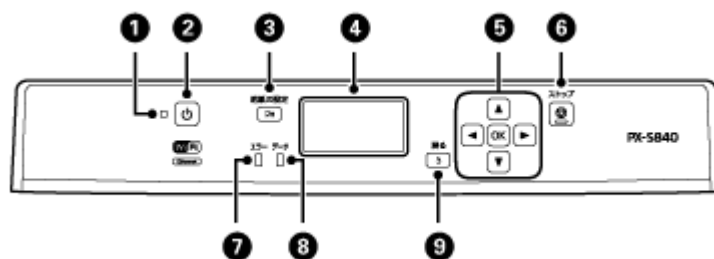
	名称	働き
①	インクカートリッジセット部	インクカートリッジをセットします。
②	前面カバー	インクカートリッジの交換や、内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
③	プリントヘッド (ノズル)	インクを吐出します。

背面



名称	働き
① USB ポート	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
② LAN ポート	LAN ケーブルを接続します。
③ サービス用ポート	通常は使用しません。シールは剥がさないでください。
④ メンテナンスボックス	廃インクを溜めます。
⑤ 背面ユニット	詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
⑥ 電源コネクタ	電源コードを接続します。

操作パネル

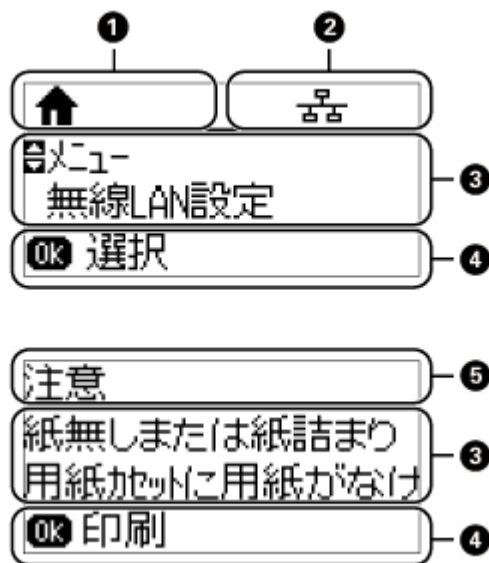


ボタンは【 】で表します（この項以外では、【電源】ボタンを【電源】と記載）。

名称	働き
① 電源ランプ	電源を入れると点灯します。 動作中（データ処理中やインクカートリッジ交換中など）は点滅します。 電源プラグは電源ランプ消灯時に抜いてください。
② 【電源】ボタン	電源の入/切をします。
③ 【給紙の設定】ボタン	各給紙装置の用紙サイズと用紙種類を設定します。
④ 液晶ディスプレイ	メッセージなどを表示します。 一定の時間（メーカー設定値は「13 分」、設定変更可）以上操作しないとスリープモードに入り、表示が消えます。操作パネルのいずれかのボタンを押すと表示が戻ります。 ▶ 「メニューと設定項目」10 ページ
⑤ 【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 【OK】 ボタン	メニュー項目の選択や設定をします。 文字入力画面では文字の入力に使用します。
⑥ 【ストップ】ボタン	印刷中に押すと、印刷を中止して排紙します。 文字入力画面で押すと、文字種類を切り替えます。
⑦ エラーランプ	エラーが発生したときに点滅または点灯します。エラーの内容は液晶ディスプレイに表示されます。

名称	働き
⑧ データランプ	印刷データが残っているときに点灯します。データ処理中は点滅します。
⑨ 【戻る】 ボタン	1 つ前の画面に戻ります。

画面の見方と使い方




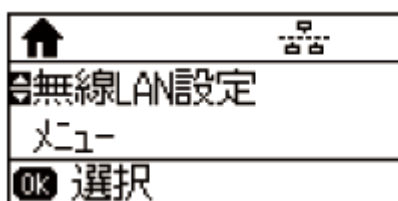
①	ホーム画面を表示していることをアイコンで示します。	
②	プリンターの状態をアイコンでお知らせします。	
		有線 LAN が非接続状態または接続が無効です。
		有線 LAN で接続されています。
		無線 LAN の電波状態を表示します。検索中または無線 LAN で使用できない状態です。
		無線 LAN の電波状態を表示します。線の数が多いほど電波状態は良好です。
		アドホックモードで接続しています。
		Wi-Fi Direct モードで接続しています。
		シンプル AP モードで接続しています。
		Eco モードで動作しています。 ➔ 「[システム管理設定] 項目一覧」 12 ページ

3	<p>メニューや状態を示すメッセージを表示します。</p> <p>画面に ▲ ▼ や ◀ ▶ が表示されているときは、▲ ▼ や ◀ ▶ でメニューや設定値を選択します。 ➔ 「メニューと設定項目」10 ページ</p> <p>長いメッセージは横スクロールしながら表示されます。スクロールの早さは [メニュー] - [システム管理設定] - [共通設定] - [スクロール速度調整] で変更されます。 ➔ 「メニューと設定項目」10 ページ</p>
4	操作できるボタンを表示します。
5	表示されている画面のタイトルです。

メニューと設定項目


【無線 LAN 設定】

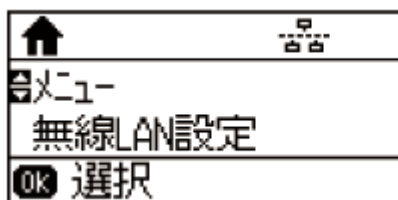
ホーム画面で  無線 LAN 設定] 表示のときに **OK** を押します。



項目名	説明
-	<p>[メニュー] - [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [無線 LAN 設定] へのショートカットメニューです。 ➔ 「[システム管理設定] 項目一覧」12 ページ</p>

【メニュー】

ホーム画面で  メニュー] 表示のときに **OK** を押します。



項目名	説明
インク残量の表示	インク残量とメンテナンスボックス空き容量を表示します。

項目名	説明	
メンテナンス	プリントヘッドのノズルチェック	プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認します。 ➔ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 30 ページ
	プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。 ➔ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 30 ページ
	ギャップ調整	印刷結果に問題があるときにお試しください。 A4 用紙をカセット 1 にセットし、ギャップ調整パターンを印刷します。印刷結果を確認し、最もズレのないパターンを画面に従って選びます。 [罫線調整]： 縦罫線がガタガタになるときにお試しください。 [プリントヘッドの調整]： 印刷結果がぼやけるときにお試しください。 [紙送り調整]： 一定の間隔でスジが入るときにお試しください。
	横スジ軽減	[プリントヘッドのクリーニング] や [ギャップ調整] の [紙送り調整] をしても、横方向にスジが入るときにお試しください。 [紙送り調整] より微調整できます。
	こすれ軽減	厚い用紙などでプリントヘッドが印刷面をこすってしまうときに設定します。
	内部ローラークリーニング	プリンター内部を清掃します。印刷物に汚れやこすれがあるときや、用紙が正しく給紙できないときにお試しください。 ➔ 「内部のクリーニング」 33 ページ
給紙の設定	給紙装置にセットした用紙のサイズと用紙種類を設定します。 ➔ 「印刷できる用紙」 16 ページ 用紙カセットをセットしたときも、この設定項目が表示されます。	
本体ステータスシートの印刷	プリンター情報シート	現在のプリンター状態や設定値の一覧を印刷します。
	消耗品情報シート	消耗品の使用状況や残量などを印刷します。
	使用履歴シート	プリンターの使用履歴一覧を印刷します。
ネットワーク情報	ネットワーク情報確認	有線 LAN、無線 LAN の設定内容と接続状態を表示します。
	Wi-Fi Direct 接続確認	Wi-Fi Direct 接続状態を表示します。
	Epson Connect 情報確認	登録や接続状態を表示します。
	Google クラウドプリント情報確認	登録や接続状態を表示します。

項目名	説明
管理者設定	<p>プリンターの各種設定項目を一括管理するために、一般の利用者がプリンターの設定を変更できないように管理者パスワードを設定してパネルをロックできます。</p> <p>管理者を設定したときは、[システム管理設定]に入るとパスワード入力画面が表示されます。管理者のパスワードを入力して設定を変更してください。</p> <p>管理者パスワードを忘れてしまった場合は、弊社お問い合わせ先にご連絡ください。 ▶ 「サービス/サポートのご案内」 50 ページ</p>
管理者パスワード	<p>[新規設定]： 管理者であることを確認するためのパスワードを1～20文字で設定します。入力できる文字は、アルファベット大文字・小文字、記号、数字、スペースです。 【▲】【▼】で1文字入力して【▶】を1回押すと、その文字が決定されて伏字(*)で表示されます。文字種類を切り替えるには【ストップ】を押します。全ての文字を入力したら【OK】を押します。</p> <p>[変更]： パスワードを変更します。パスワードを設定していないときは、この項目は表示されません。</p> <p>[初期化]： パスワードを空文字(NULL)に初期化します。パスワードを設定していないときは、この項目は表示されません。</p>
管理者ロック	[システム管理設定]の操作を管理者以外ができないように設定します。
システム管理設定	<p>[管理者ロック]を設定している場合は、設定値の変更に管理者パスワードの入力が必要です。メニュー項目の詳細は以下をご覧ください。 ▶ 「[システム管理設定] 項目一覧」 12 ページ</p>

【システム管理設定】項目一覧

ホーム画面から [メニュー] - [システム管理設定] を選択します。

[管理者ロック] を [オン] に設定すると管理者のみ設定、変更ができます。

項目名	説明		
プリンター設定	給紙装置設定	MP トレイ優先	自動で給紙装置を選択する設定で、背面 MP トレイを優先するときに設定します。
		A4/Letter 自動切替	送信された印刷データ用の紙サイズと同じ設定がされている給紙装置がないときは、代替用紙 (A4 のときは Letter、Letter のときは A4) に印刷します。
		給紙口自動選択	プリンタードライバーで [給紙方法] - [自動選択] にしたときの検索対象の装置にするかどうかを設定します。 [オフ] に設定した給紙装置から印刷するときは、プリンタードライバーの [給紙方法] で給紙させたい装置を指定します。
		エラー通知	[用紙サイズエラー] : 用紙サイズが異なる場合にエラーを出すかどうかを設定します。 [用紙種類エラー] : 用紙種類が異なる場合にエラーを出すかどうかを設定します。
	自動エラー解除	両面非対応の用紙をセットしたまま両面印刷のジョブを送ったとき、自動で片面に印刷するかどうかを設定します。 [オン] : 一定時間メッセージを表示した後、自動で印刷します。 [オフ] : エラーメッセージが表示されます。	
コンピューターの USB 接続	USB インターフェイスを使用するかどうか (インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか) を選択します。		
共通設定	スリープ移行時間設定	プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ (省電力) モードに移行する時間を設定します。	
	自動電源オフ	プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切るかどうか、切る場合は切るまでの時間を設定します。	
	LCD コントラスト調整	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。16 段階で変更できます。	
	日付 / 時刻設定	日付 / 時刻	日付や時刻を設定します。
		時差	協定世界時 (UTC) との時差を設定します。初期値 +9:00 で設定されているため、通常は変更する必要はありません。
	言語選択 /Language	ディスプレイに表示される言語を選択します。	
スクロール速度調整	ディスプレイに表示される文章のスクロール速度を変更します。[速い] [標準] [遅い] から選択できます。		

項目名	説明		
ネットワーク設定	ネットワーク情報確認	設定や接続状態を確認できます。ネットワークステータスシートを印刷すると詳細な情報を確認できます。	
	無線 LAN 設定	手動設定	SSID (無線ネットワーク名)、暗号化などのセキュリティーキーをご自分でプリンターに入力してネットワークを設定します。事前にネットワーク情報が必要です。 入力方法は、【▲】【▼】で1文字入力して【▶】を1回押してカーソルを移動します。文字種類を切り替えるには【ストップ】を押します。全ての文字を入力したら【OK】を押します。
		プッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS)	アクセスポイントの【AOSS】または【WPS】で無線 LAN の設定をします。
		PIN コード自動設定 (WPS)	本製品に割り振られた8桁の数字をアクセスポイントまたはパソコンに登録して、無線 LAN の設定をします。
		カンタン自動設定	コンピューターの無線 LAN 設定を使って、プリンターとコンピューターを直接通信してネットワーク設定を行います。
		無線 LAN を無効にする	無効にすると、有線 LAN の接続が有効になります。
		Wi-Fi Direct 設定	[Wi-Fi Direct 接続確認] [接続設定] [接続切断]
ネットワーク接続診断	接続状態を診断します。診断結果を印刷すると、詳細な情報が確認できます。診断結果の見方は『ネットワークガイド』をご覧ください。		
ネットワーク詳細設定	プリンター名	詳細は『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。	
	TCP/IP アドレス		
	DNS サーバー		
	プロキシサーバー		
	IPv6 アドレス		
	Wi-Fi Direct		
	IPsec/IP フィルタリング		
IEEE802.1X			
Epson Connect 設定	サービスの一時停止 / 再開	Epson Connect サービスの利用停止、再開を設定します。	
	初期設定に戻す	Epson Connect サービスの登録を削除します。	
Google クラウドプリント設定	サービスの一時停止 / 再開	Google クラウドプリントサービスの利用停止、再開を設定します。	
	初期設定に戻す	Google クラウドプリントサービスの登録を削除します。	

項目名	説明		
モバイル (PC) 機器印刷設定	プリンタードライバーを使わずに印刷するときに設定します。		
	上オフセット設定 左オフセット設定 裏面上オフセット設定 裏面左オフセット設定	印刷開始位置 (上からの開始位置 / 左からの開始位置) を設定します。	
	紙幅チェック印刷	印刷時に紙幅をチェックし、紙からはみ出さないように印刷します。	
	両面・乾燥時間	両面印刷時の追加乾燥時間を設定します。 こすれが発生するときは、[長い] または [より長い] を選択してください。	
	白紙節約モード	白紙のページを印刷するか、しないか設定します。	
	Eco モード	オフ	[共通設定] の [スリープ移行時間設定] および [自動電源オフ] で設定している時間が有効になります。
オン		スリープ移行時間設定	スリープモードへの移行時間を設定します。
		自動電源オフ	自動電源オフへの移行時間を設定します。
初期設定に戻す	ネットワーク設定	[システム管理設定] - [ネットワーク設定] で設定されている項目を、購入時の状態にします。	
	全て初期化	操作パネルで設定する全ての項目を、購入時の状態にします。	

印刷用紙とセット方法

印刷用紙

印刷できる用紙

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超過してセットしないでください。以下は 2013 年 8 月現在の情報です。

エプソン専用紙（純正品）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			用紙種類の設定	印刷できる面
		カセット 1	カセット 2	背面 MP トレイ		
写真用紙クリスピー<高光沢>	A4・六切・2L 判・KG サイズ・L 判	×	×	20 枚※ 1	写真用紙クリスピー	より光沢のある面のみ
写真用紙<光沢>	A4・六切・2L 判・ハイビジョン・KG サイズ・L 判	×	×	20 枚※ 1	写真用紙	
写真用紙<絹目調>	A4・2L 判・L 判	×	×	20 枚※ 1		
写真用紙ライト<薄手光沢>	A4・2L 判・KG サイズ・L 判	×	×	20 枚※ 1	写真用紙ライト	
写真用紙エントリー<光沢>	A4・2L 判・KG サイズ・L 判	×	×	20 枚※ 1		
フォト光沢紙	A4	×	×	20 枚※ 1	写真用紙	
フォトマット紙	A4	×	×	20 枚	フォトマット紙	より白い面のみ
スーパーファイン紙	A4	×	×	80 枚	スーパーファイン紙	
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	×	×	30 枚	<宛名面> 郵便ハガキ <通信面> スーパーファイン紙	両面
両面上質普通紙<再生紙>	A4	200 枚	200 枚	50 枚※ 2	普通紙	両面
両面マット名刺用紙	A4	×	×	1 枚	両面マット名刺用紙	両面
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	×	×	1 枚	スーパーファイン紙	白い面のみ

※ 1 うまく給紙できないときや、印刷結果がこすれたりムラになったりするときは、1 枚ずつセットしてください。



※ 2 片面に印刷済みの用紙は 20 枚まで



参考

エプソン製専用紙（純正品）をユーザー定義サイズで印刷するときは、印刷品質は【標準】のみとなります。ただし、一部のドライバーでは高品質の印刷設定を選択できますが、その場合も【標準】の品質で印刷されます。

市販の用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			用紙種類の設定	印刷できる面
		カセット 1	カセット 2	背面 MP トレイ		
コピー用紙・事務用普通紙・再生紙・色つき用紙・レターヘッド・印刷済み用紙	Letter・A4・B5	用紙ガイドの上限まで 	用紙ガイドの上限まで	80枚 ※1※2	普通紙、再生紙、色つき、レターヘッド、印刷済み	両面
	Legal		 ▽マーク下の線を越えない	1枚		
	A5	×	×	80枚 ※1※2		
	A6	×	×	80枚 ※1※2		
	ユーザー定義サイズ (182 × 257mm ~ 215.9 × 297mm)	×	×	80枚※1		
	ユーザー定義サイズ（上記以外）	×	×	1枚		
厚紙（紙厚 0.12 ~ 0.26mm）	Letter・A4・B5・A5・A6	×	×	10枚※4	厚紙	任意の面
	Legal	×	×	1枚		
	ユーザー定義サイズ (182 × 257mm ~ 215.9 × 297mm)	×	×	10枚※4		
	ユーザー定義サイズ（上記以外）	×	×	1枚		
往復ハガキ※3	往復ハガキ	×	×	15枚	郵便ハガキ	両面
郵便ハガキ※3	ハガキ	×	×	30枚	郵便ハガキ	
郵便ハガキ（インクジェット紙）※3	ハガキ	×	×	30枚	郵便ハガキ（IJ）	
封筒	長形 3号・4号	×	×	10枚	封筒	両面
	洋形 1号・2号・3号・4号	×	×	10枚		宛名面のみ
	角形 2号	×	×	1枚		両面
	角形 20号	×	×	1枚		両面

※1 片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで

※2 穴あき用紙対応（1 枚のみセット可能）

※3 日本郵便株式会社製、郵便光沢ハガキ＜写真用＞は非対応

※4 片面に印刷済みの用紙は 5 枚まで

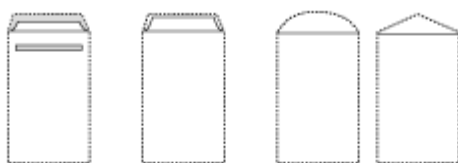
印刷できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

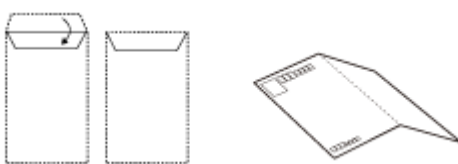
- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている、反っている、丸まっている、シールなどが貼ってある用紙



- のり付けおよび接着の処理が施された封筒、二重封筒、窓付き封筒やフラップが円弧や三角形の長形封筒や角形封筒



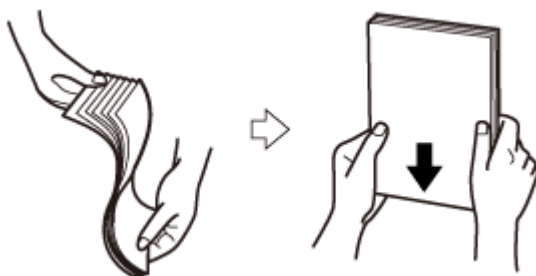
- フラップを一度折った長形封筒や一度折った往復ハガキ



- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ

取り扱い上のご注意

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 封筒をセットするときは、よくさばいて側面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。



- ハガキへの両面印刷は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。



用紙のセット方法

セットできる用紙種類やサイズは、給紙装置によって異なります。

➔ [「印刷用紙」16 ページ](#)

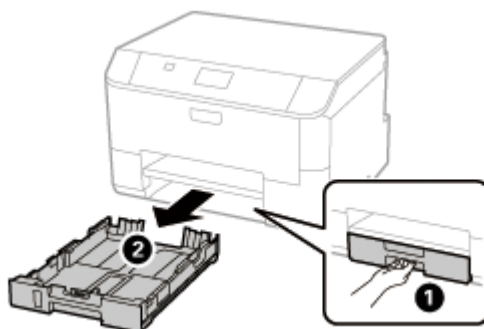
用紙カセット

ここではカセット 1 を例に説明しますが、カセット 2（オプション）も同じです。

1. 用紙カセットを抜きます。

動作中は用紙カセットを抜き差ししないでください。

用紙カセット 2（オプション）は、用紙カセットカバーも外してください。

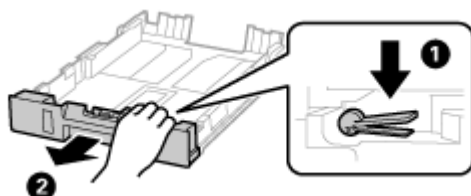


2. 用紙ガイドをつまんで広げます。

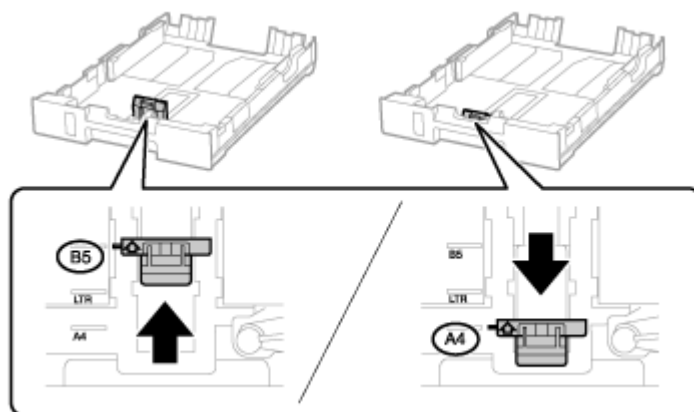


参考

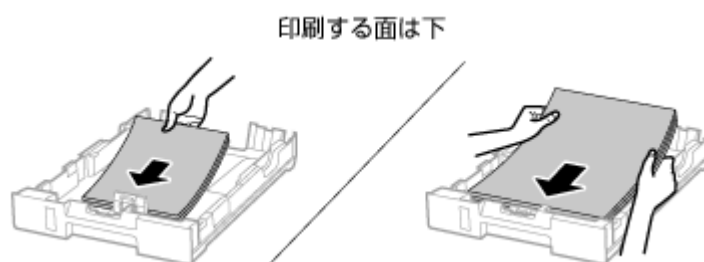
A4 サイズより長い用紙は、用紙カセットに貼られているラベル（または刻印）の通り、左手で用紙カセットを押さえながら、右手で ① の部分をつまみ、用紙カセットを手前に引き伸ばします。



3. 手前の用紙ガイドを、セットする用紙サイズに合わせます。

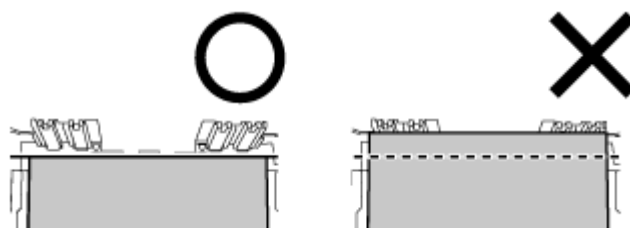


4. 手前の用紙ガイドに合わせて、用紙を縦方向にセットします。

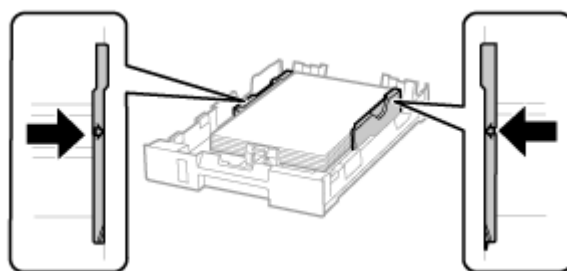


重要

カセット先端は越えないでください。

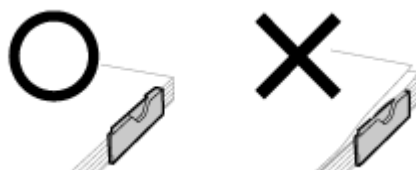


5. 左右の用紙ガイドを用紙に合わせます。



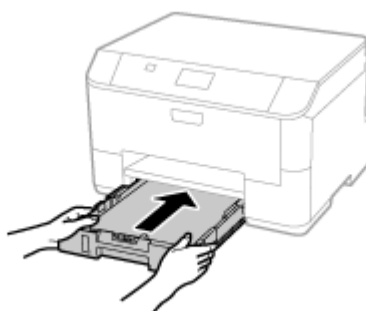
重要

最大セット枚数を超えないでください。



6. 用紙カセットをセットします。

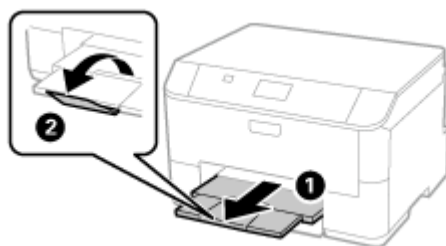
用紙カセット 2 (オプション) は、用紙カセットカバーを取り付けてからセットしてください。



参考

カセットをセットすると用紙サイズと用紙種類を設定する画面が表示されます。画面に従ってセットした用紙を設定してください。

7. 排紙トレイを引き出します。

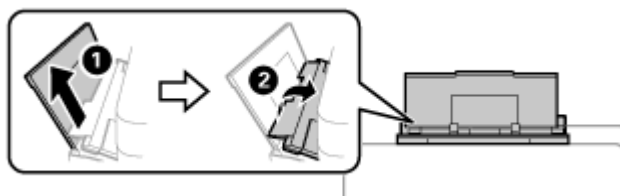


以上で終了です。

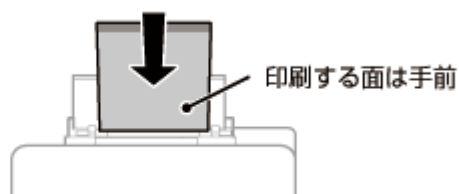
背面 MP トレイ

対応している全ての用紙がセットできます。ただし、用紙によってセット可能枚数が異なります。

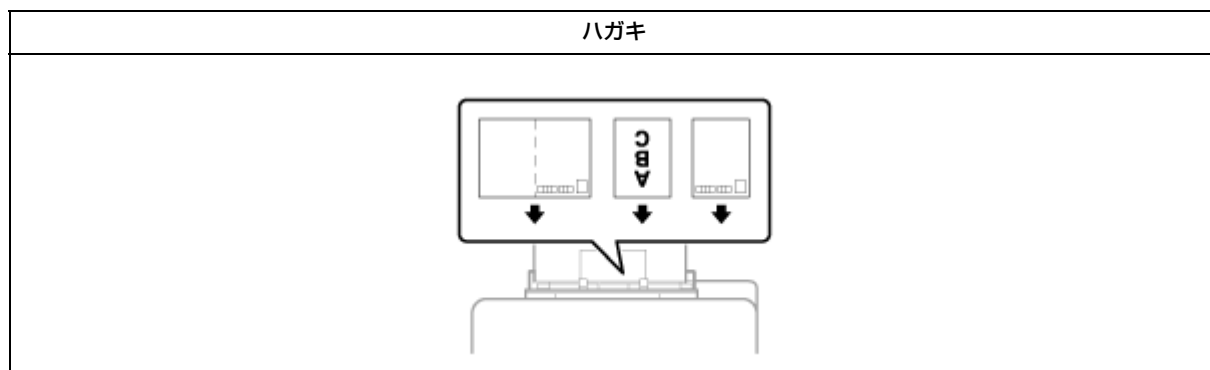
1. 用紙サポートを引き出して、給紙口カバーを開けます。

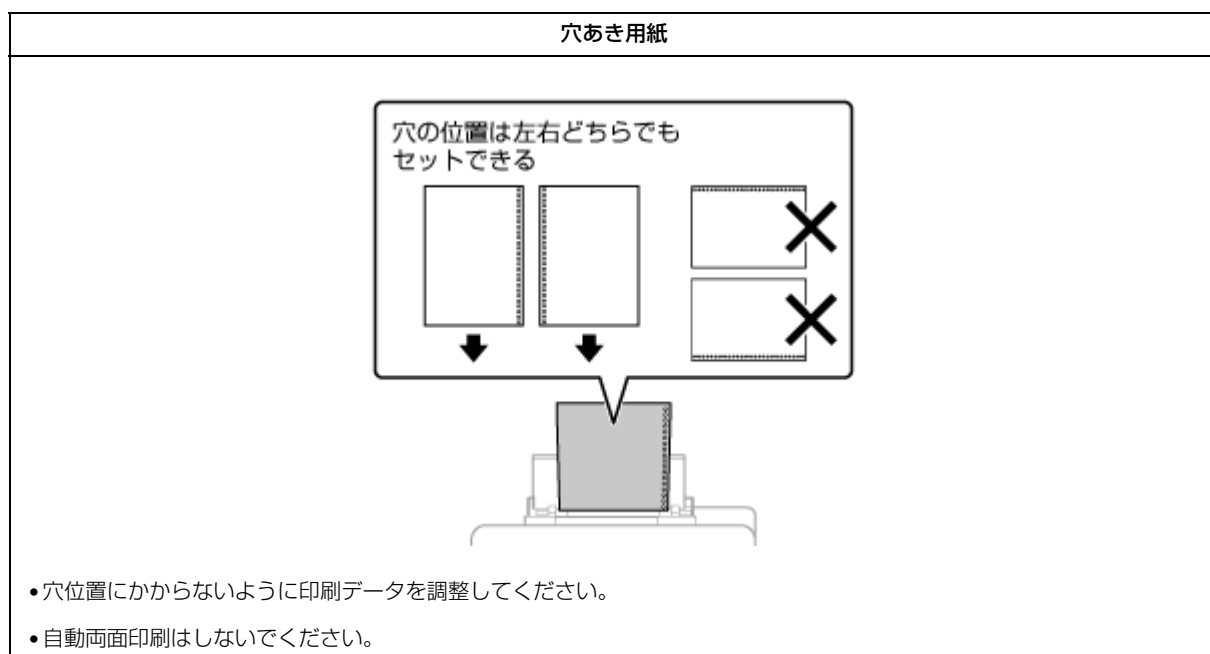
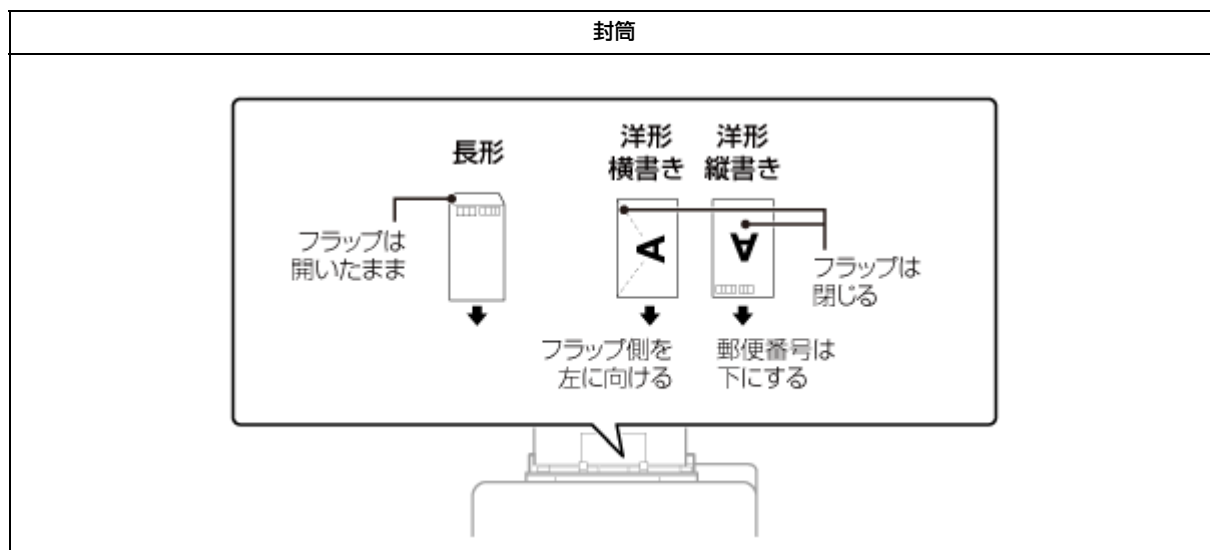


2. 用紙ガイドを広げ、用紙を縦方向にセットします。

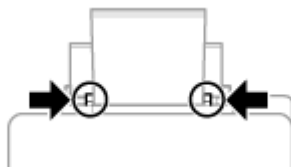


以下の用紙は下図の向きでセットしてください。

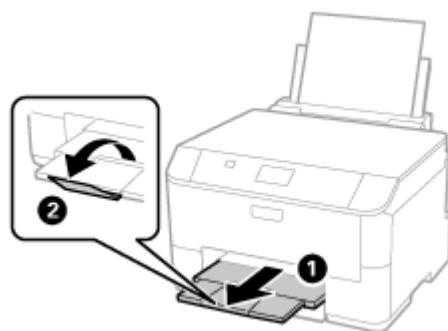




3. 用紙ガイドを用紙の側面に合わせてから、給紙口カバーを閉めます。



4. 排紙トレイを引き出します。



5. 【給紙の設定】を押して、背面 MP トレイの設定をします。

【▲】または【▼】で背面 MP トレイを選択して、セットした用紙の種類とサイズを選択します。

以上で終了です。

増設カセットユニット（オプション）の取り付け

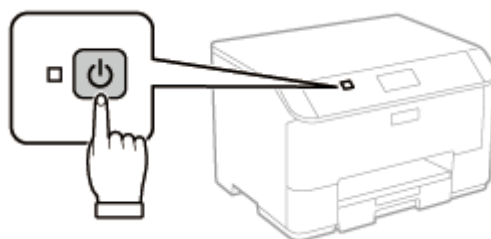
オプションの増設カセットユニット（型番：PXBA4CU1）の取り付け方法を説明します。



注意

作業は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

1. 【電源】を押し、電源を切ります。

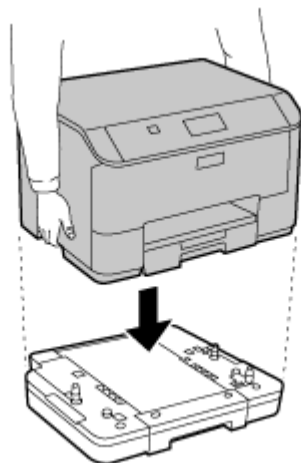


2. 本体に取り付けているケーブル類を取り外します。

3. 増設カセットユニットを箱から取り出します。

4. 増設カセットユニットの保護テープや保護材を全て取り外します。

5. 増設カセットユニットに本体を載せます。



6. 取り外したケーブル類を再接続して電源を入れます。
7. 用紙カセットを抜き差しして、増設カセットユニットが認識されていることを確認します。
用紙カセット 2 の用紙サイズと用紙種類を設定する画面が表示されることを確認してください。

**参考**

増設カセットユニットが認識されていないときは、ケーブル類を取り外し手順 5 からやり直してください。

8. プリンタードライバーのプリンター情報を更新します。
詳しくは、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル） - 「プリンターの設定」をご覧ください。

以上で終了です。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

以下の型番のインクカートリッジを用意してください。

➔ [「インクカートリッジ型番」 43 ページ](#)



参考

大量に印刷するときはインク残量を確認し、事前に予備のインクカートリッジを用意してください。インク残量は、プリンタードライバーからと、プリンター画面の [メニュー] - [インク残量の表示] で確認できます。

➔ [「ユーザーズガイド」 - 「メンテナンス」 - 「プリンターの状態（インク残量 / エラーなど）確認」](#)

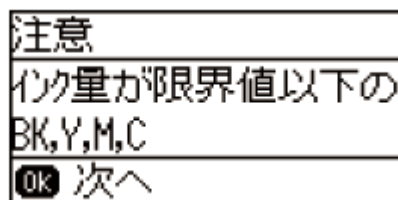
➔ [「メニューと設定項目」 10 ページ](#)

メッセージ表示前の交換

印刷していないときに交換できます。「メッセージ表示後の交換」の手順 3 から作業してください。

メッセージ表示後の交換

1. 交換が必要なインクカートリッジを確認して、**[OK]** を押します。



2. **[交換]** を選択して **[OK]** を押します。

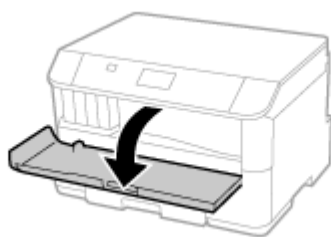


参考

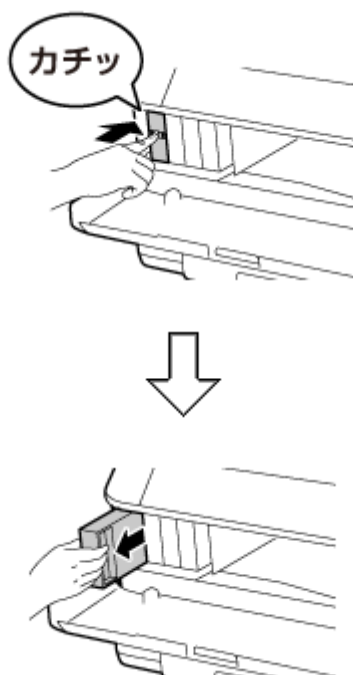
カラーインク残量が限界値を下回ったときは、一時的に黒インクのみ使用して印刷できます。

画面に従い **[交換]** または **[印刷中止]** を選択してください。

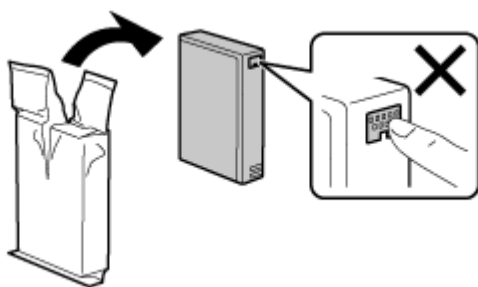
3. 前面カバーを開けます。



4. 交換するインクカートリッジを押し、取り外します。



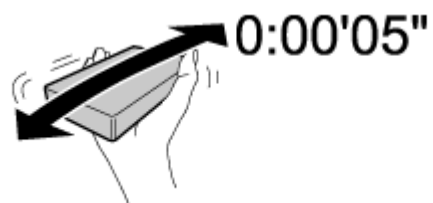
5. 新しいカートリッジを袋から取り出します。



重要

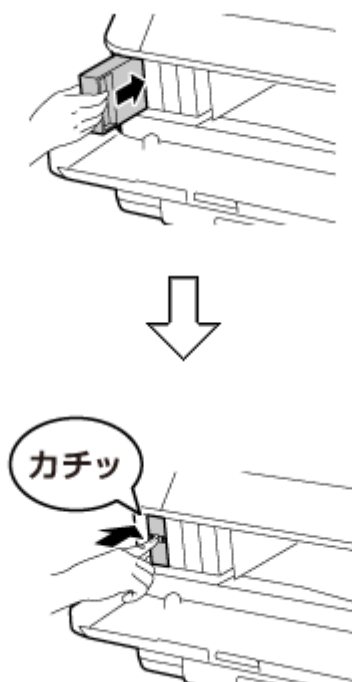
カートリッジの IC チップには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります

6. インクカートリッジを水平方向に 5 秒間 (約 10cm の振り幅で 15 回程度) 振ります。



7. 新しいインクカートリッジをセットします。

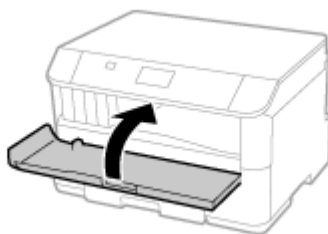
「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



参考

[セット状態確認] が画面の下側に表示されているときは、【OK】を押すとインクカートリッジが正しくセットされているか確認できます。

8. 前面カバーを閉めます。



以上で終了です。

インクカートリッジに関するご注意

- カートリッジは常温で直射日光を避けて保管してください。

- 個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、開封後は6ヵ月以内に使い切ることをお勧めします。
- カートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- カートリッジのICチップには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充填中は、電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジを取り外した状態で本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジは、ICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みカートリッジ内にインクが残ります。
- カートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- カートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- カートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

純正インクカートリッジのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のもをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

➔ <http://www.epson.jp/recycle/>

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、印刷がかすれたり、スジが入ったりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック（目詰まり確認）をしてください。



参考

プリンタードライバーのユーティリティ画面からも実行できます。

➔ 『ユーザーズガイド』 - 『メンテナンス』 - 『ノズルチェックとヘッドクリーニング』

1. 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットします。

➔ 『用紙のセット方法』 19 ページ

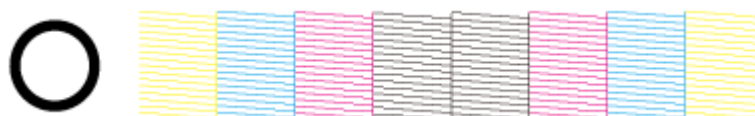
2. [メニュー] - [メンテナンス] - [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。

画面の説明に従ってノズルチェックパターンを印刷してください。

3. ノズルチェックパターンを確認します。

明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下では、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

良い例：



全てのラインが印刷されている場合は、目詰まりしていません。画面の説明に従って終了してください。

悪い例：



印刷されないラインがある場合は、手順 4 に進んでください。

4. [ヘッドクリーニング] を選択します。

画面の指示に従ってヘッドクリーニングしてください。

**重要**

- ヘッドクリーニング中は、電源を切ったり、前面カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングができないことがあります。

5. ヘッドクリーニングが終わったら、[ノズルチェック] を選択し、再度ノズルチェックパターンを印刷します。

ノズルチェックパターンの全てのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

以上で終了です。

**重要**

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 4 回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 6 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口にご依頼ください。
 - ➔ [「お問い合わせ先」 54 ページ](#)
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが全色消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入 / 切は必ず電源ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜めるものです。いっぱいになると、ボックスを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、交換してください。

**注意**

インクが皮膚に付いてしまったり、目に入ったりしたときは、すぐに水で洗い流してください。

**重要**

- 保管するときは直射日光を避けてください。
- 印刷中は交換しないでください（廃インクが漏れることがあります）。

**参考**

メンテナンスボックスの空き容量は、[メニュー] - [インク残量の表示] で確認できます。

1. 新しいメンテナンスボックスを用意します。

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。

型番：PXBMB2

**重要**

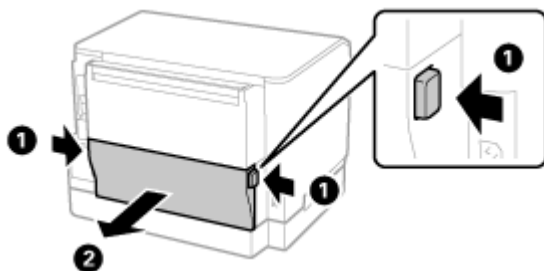
取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。

2. 新しいメンテナンスボックスを箱から取り出します。

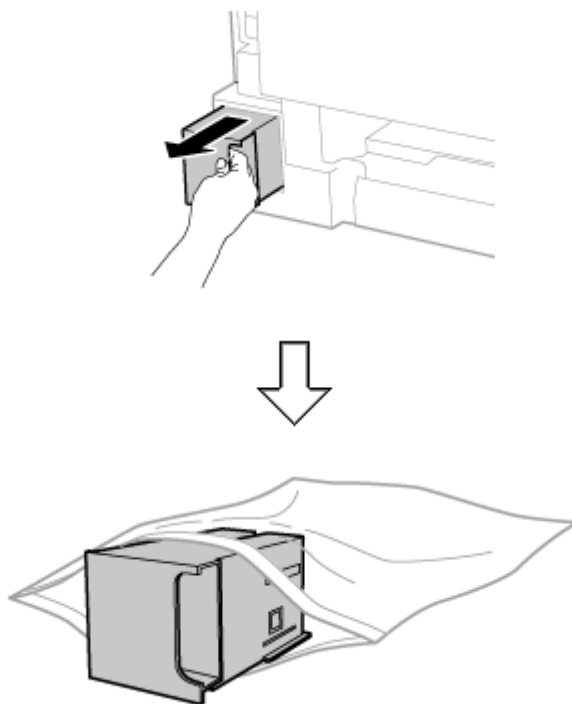
使用済みメンテナンスボックスを入れるための透明袋が添付されています。

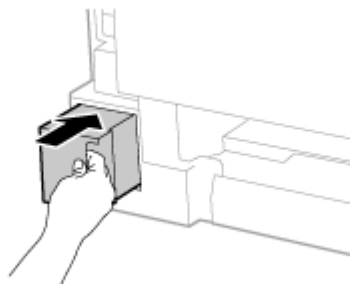
**重要**

メンテナンスボックスのICチップには触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。

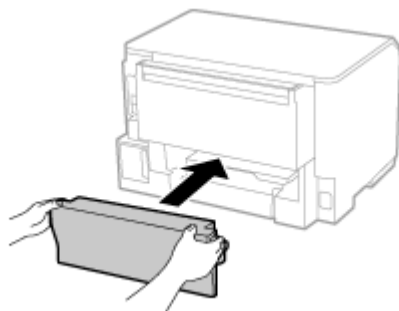
3. 背面ユニットの左右のボタンを押して、背面ユニットを取り外します。**4. 使用済みメンテナンスボックスを引き出し、そのまま透明の袋に入れて密封します。****重要**

メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。

**5. 保護材を取り外した新しいメンテナンスボックスをセットします。**



6. 背面ユニットを取り付けます。



7. [OK] を押します。

以上で終了です。

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

→ <http://www.epson.jp/recycle/>

内部のクリーニング

内部のクリーニング（印刷物が汚れる場合）

普通紙を通紙して製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。



重要

製品内部は、布やティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. ホーム画面で [メニュー] - [メンテナンス] - [内部ローラークリーニング] を選択します。

2. 給紙装置を選択して、普通紙をセットします。

用紙カセットに用紙をセットすると、[給紙の設定] 画面が表示されます。セットした用紙のサイズと種類を設定してください。

3. [▲] を押します。

4. 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで繰り返します。

印刷物の汚れやこすれが直らないときは、別の給紙装置で手順 1～手順 4 をお試しください。

内部のクリーニング（用紙が正しく給紙されない場合）

製品内部（ローラー）をクリーニングすると、正常に給紙されることがあります。

1. ホーム画面で [メニュー] - [メンテナンス] - [内部ローラークリーニング] を選択します。

2. 給紙不良の発生した給紙装置を選択して、普通紙（背面 MP トレイの場合はクリーニングシート）をセットします。

用紙カセットに用紙をセットすると、[給紙の設定] 画面が表示されます。セットした用紙のサイズと種類を設定してください。

クリーニングシートは背面 MP トレイでのみ使えます。お使いのエプソン専用紙にクリーニングシートが添付されているときは、それを使ってください。また、以下からもお買い求めいただけます。

エプソンダイレクト <<http://www.epson.jp/shop/>>

商品名：PX/PM 用クリーニングシート

3. [▲] を押します。

4. 手順 1 の [内部ローラークリーニング] の選択～手順 3 を、2～3 回繰り返します。

クリーニングシートは、3 回程度の給排紙で効果がなくなります。

輸送方法

輸送の前に以下の作業を行ってください。

1. 電源を切ります。

プリントヘッドがホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。



重要

- インクカートリッジを取り外さないでください。取り外すと、プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- メンテナンスボックスは取り外さないでください。輸送時にインクが漏れるおそれがあります。
- プrintヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、ホームポジションに戻らず、固定されません。電源を入れ直し、【電源】を押して電源を切ってください。

2. 背面 MP トレイや排紙トレイなどを元の位置に戻します。

3. ケーブル類を外します。

4. セットされている用紙を取り出します。

5. 増設カセットユニット（オプション）が取り付けられているときは、取り外します。

本体とオプションの増設カセットユニットは別々に梱包してください。

6. 保護材を取り付けた後、梱包箱に入れます。



重要

保護材の取り付けや輸送は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で行ってください。

以上で終了です。

輸送後は、保護材を取り外してからお使いください。

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてみてください。

➔ [「ノズルチェックとヘッドクリーニング」30 ページ](#)

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方や、電源が入らない、給排紙できないなどの対処法を説明します。

コンピューターからの印刷や操作で困ったときは、『ユーザーズガイド』-「トラブル解決」をご覧ください。

詰まった用紙の取り除き方

用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。



注意

製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、突起などでけがをしないように注意してください。

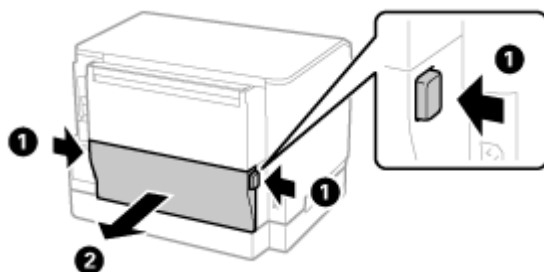


重要

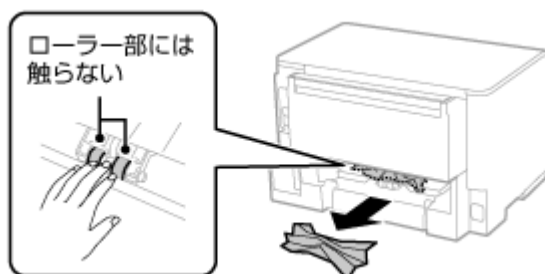
用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。

プリンター背面部

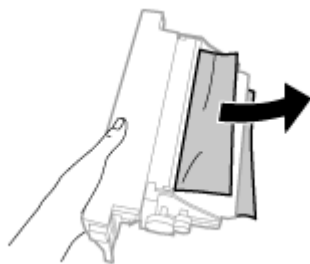
1. 背面ユニットの左右のボタンを押して背面ユニットを取り外します。



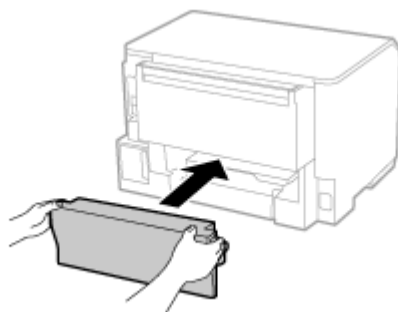
2. 本体に詰まった用紙を取り除きます。



3. 背面ユニットに詰まった用紙を取り除きます。



4. 背面ユニットを取り付けます。



以上で終了です。

プリンター内部

1. 前面カバーを開けます。



2. 用紙を取り除きます。

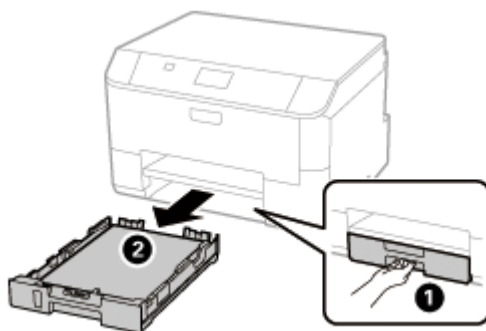


3. 前面カバーを閉めます。

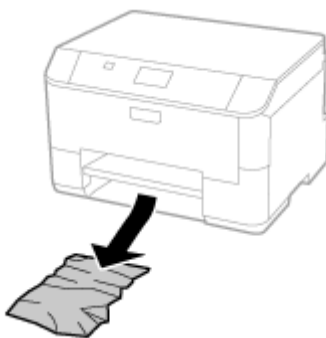
以上で終了です。

用紙カセット部

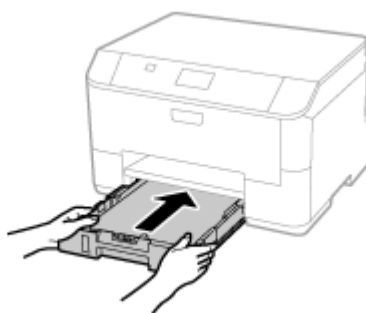
1. 全ての用紙カセットを引き抜きます。



2. 用紙を取り除きます。



3. 用紙カセットをセットします。



以上で終了です。

メッセージが表示された

メッセージ	対処方法
プリンターエラー XXXXXXXX 電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、前面カバーを開けて内部に用紙などが入っていないか確認してください。 それでも同じメッセージが表示される場合は、エラーコードを控えてからエプソンインフォメーションセンターにご連絡ください。 ➡ 「お問い合わせ先」 54 ページ
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。 ➡ 「インクカートリッジの交換」 26 ページ
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが無効です。 正しく入力してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	[ネットワーク情報確認]で IP アドレスとサブネットマスクの設定値を確認してください。ネットワーク情報の確認方法は『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ① コンピューターとプリンターを USB 接続します。(リカバリー中のアップデートはネットワーク接続ではできません。) ② エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードして、アップデートを開始します。詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

トラブルへの対処

電源 / 操作パネル

現象	対処方法
電源が入らない 電源ランプが消灯したまま	<ul style="list-style-type: none"> •【電源】を少し長めに押してください。 •電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。また、壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】を少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直し、【電源】で切ってください。
液晶ディスプレイが暗くなった	スリープモードになっています。操作パネルのいずれかのボタンを押すと、操作画面が表示されます。

給紙 / 排紙

現象	対処方法
斜めに給紙される 重なって給紙される 給紙されない 排紙されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> 用紙は正しくセットしてください。用紙ガイドは用紙サイズに合わせてください。 → 「用紙のセット方法」 19 ページ 印刷できる用紙をお使いください。 → 「印刷できる用紙」 16 ページ 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 → 「総合仕様」 42 ページ 内部のローラーが汚れている可能性があります。きれいにしてください。 → 「内部のクリーニング」 33 ページ
用紙が詰まった	<p>用紙を取り除いてください。 → 「詰まった用紙の取り除き方」 36 ページ</p>

印刷品質

スジや線が入るときに確認してください。

その他の印刷品質に関するトラブルは、『ユーザーズガイド』 - 「トラブル解決」 - 「印刷のトラブル」をご覧ください。

現象	対処方法
スジや線が入る かすれる 印刷されない色がある	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 → 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 30 ページ プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 → 「[メニュー]」 10 ページ <p>[プリントヘッドのクリーニング] や [紙送り調整] をしても横方向にスジが入るときは、[セットアップ] - [メンテナンス] - [横スジ軽減] を選択して、紙送り量を微調整してください。</p>

その他のトラブル

現象	対処方法
ヘッドクリーニングできない	<p>ヘッドクリーニングはインクを消費するため、十分な残量がないとできません。新しいインクカートリッジに交換してから行ってください。 → 「インクカートリッジの交換」 26 ページ</p>
約10分以上連続して印刷をしている途中で、印刷速度が遅くなった	<p>高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いたため、速度を下げている状態です（印刷は継続できます）。</p> <p>印刷を中断し、電源を入れたまま 30 分以上放置した後は通常で印刷します（電源を切って放置しても印刷速度は回復しません）。</p>
製品に触れたときに電気を感ずる（漏洩電流）	<p>多数の周辺機器をコンピューターに接続していると、プリンターに触れたときに電気を感ずることがあります。アース（接地）を取ってください。</p>

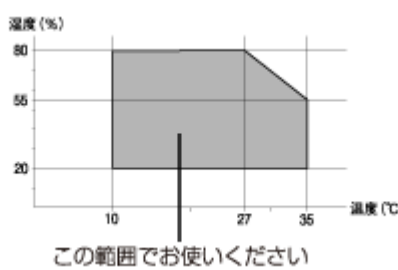
現象	対処方法
コンピュータ接続していて トラブルが発生した	コンピュータ接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ➔ 『ユーザズガイド』 - 「トラブル解決」 ➔ 『ネットワークガイド』 - 「設定 / 印刷で困ったときは」

製品仕様とご注意

製品仕様とご注意

以下の情報は、2013年8月現在のものです。

総合仕様

ノズル配列	黒インク：400 × 2列 カラーインク：各色 400 × 2列
インク色	ブラック/シアン/マゼンタ/イエロー
最小ドットサイズ	2.8pl (ピコリットル)
インターフェイス	Hi-Speed USB (PC 接続用) 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
定格電圧	AC100 ~ 240V
定格周波数	50 ~ 60Hz
定格電流	0.8 ~ 0.4A
消費電力 (USB 接続時)	印刷時：約 24W (ISO/IEC24712 印刷パターン) スリープモード時：約 1.6W 電源オフ時：約 0.3W
外形寸法	収納時：幅 461 × 奥行 422 × 高さ 284mm 使用時：幅 461 × 奥行 655 × 高さ 383mm
質量	約 11.3kg (インクカートリッジ、電源コードを含まず)
動作時の環境	温度：10 ~ 35℃ 湿度：20 ~ 80% (非結露)  この範囲でお使いください
保管時の環境	温度：-20 ~ 40℃ 湿度：5 ~ 85% (非結露)
省資源機能	両面 / 割り付け / 縮小などの印刷機能で、印刷用紙の使用枚数が節約できます。
対応 OS ※ 1	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista ※ 2、Windows 7 ※ 2、Windows 8 ※ 2、Windows 8.1 ※ 2、Windows Server 2003 ※ 2、Windows Server 2003 R2 ※ 2、Windows Server 2008 ※ 2、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 Mac OS X v10.5.8、Mac OS X v10.6.x、Mac OS X v10.7.x、Mac OS X v10.8.x、Mac OS X v10.9.x

※ 1 最新の OS 対応状況はエプソンのホームページをご覧ください。

➔ <http://www.epson.jp/support/taiou/os>

※ 2 32 ビット版 /64 ビット版に対応

インクカートリッジ型番

画面の表示	色	型番	
		M サイズ	L サイズ
[BK]	ブラック	ICBK92M	ICBK92L
[C]	シアン	ICC92M	ICC92L
[M]	マゼンタ	ICM92M	ICM92L
[Y]	イエロー	ICY92M	ICY92L

M サイズと L サイズは混在して使用できます。

エプソン純正品インクカートリッジのご使用をお勧めします。

インクの消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが全色消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

有線 LAN

準拠規格	IEEE 802.3i/u/ab、IEEE 802.3az ※ 1
通信モード	10BASE-T/100BASE-TX 自動または固定の選択が自由 1000Base-T ※ 2 は自動のみ
コネクタ形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

※ 1 接続機器が IEEE802.3az に対応している必要があります。

※ 2 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合及び電磁障害リスク低減のため、カテゴリー 5e 以上の STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること。

無線 LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
無線規格	ARIB STD-T66/RCR STD-33
周波数範囲	2.400 ~ 2.4835GHz (1 ~ 13ch) 2.471 ~ 2.497GHz (14ch)
チャンネル	IEEE 802.11b : 1 ~ 14ch IEEE 802.11g : 1 ~ 13ch IEEE 802.11n : 1 ~ 13ch ※ 1
伝送方式	DS-SS (IEEE 802.11b) OFDM (IEEE 802.11g/n)
通信速度※ 2	IEEE 802.11b : 1 ~ 11Mbps モード IEEE 802.11g : 6 ~ 54Mbps モード IEEE 802.11n HT20 : 6.5 ~ 72.2Mbps モード
通信モード	インフラストラクチャー アドホック※ 3 Wi-Fi Direct ※ 4
セキュリティー	WEP (64/128bit) WPA-PSK (AES) ※ 5 WPA2-Enterprise

※ 1 20MHz 帯域幅 (HT20) のみ対応

※ 2 電波状況により変動あり

※ 3 IEEE 802.11n には非対応

※ 4 IEEE802.11b、IEEE802.11n には非対応

※ 5 WPA2 規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal 規格に対応

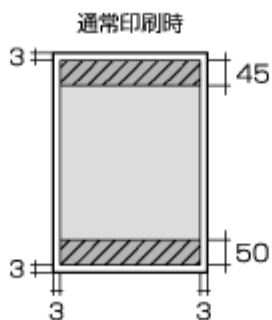
セキュリティープロトコル

SSL/TLS	HTTPS サーバー / クライアント
	IPPS
IEEE802.1X	
IPsec/IP フィルタリング	
SNMPv3	

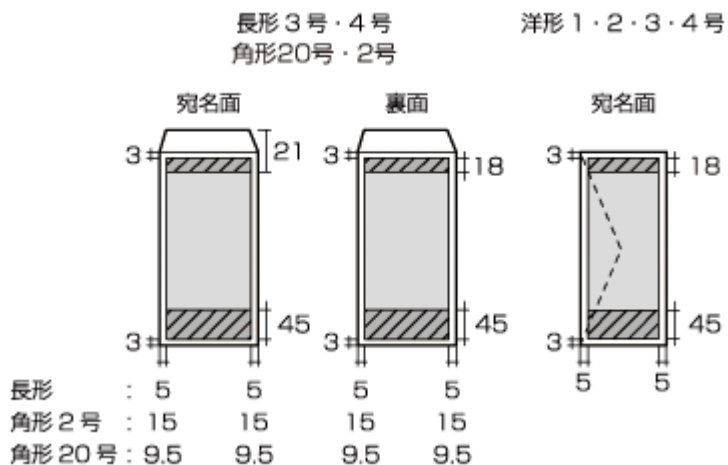
印刷領域 (単位 mm)

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙



封筒



規格 / 規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

(関連法律) 刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OS、OS X は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- AOSS (TM) は株式会社バッファローの商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

ご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

発揮性物質の放散

本製品は RAL-UZ171 およびエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

電波

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名： WLU6117-D69(RoHS)
- 認証番号： 003WWA110893
003GZA110894

周波数

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業、科学、医学用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所または使用周波数を変更するか、本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、エプソンインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ (<http://www.wi-fi.org>) をご参照ください。

2.4 DS/OF 4

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

無線 LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティ

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み取られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品の日本国外への持ち出し

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理 / 保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機 / 列車 / 船舶 / 自動車などの運行に直接関わる装置 / 防災防犯装置 / 各種安全装置など機能 / 精度などにおいて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

プリンター本体の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、ネットワーク設定などの情報を消去してください。操作パネルの [セットアップ] - [システム管理設定] - [初期設定に戻す] - [全て初期化] で消去できます。

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

サービス / サポートのご案内

サービス / サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートは、以下のページでご案内しています。

➔ 「お問い合わせ先」 54 ページ

マニュアルダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

➔ <http://www.epson.jp/support/> - 「製品マニュアルダウンロード」

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうか分からない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 — スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 — 万トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し修理いたします。
- 手続きが簡単 — エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 — エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず以下のページをよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

➔ 本ガイドの「困ったときは」

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求め頂いた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
➔ [「お問い合わせ先」 54 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> • 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理の都度発生する修理代・部品代※が無償になる為予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> • お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代※が無償のため予算化ができて便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいで数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	有償 (出張料のみ) 修理完了後、その都度お支払いください	有償 (出張料 + 技術料 + 部品代) 修理完了後、その都度お支払いください
持込 / 送付修理		お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。	無償	有償 (出張料 + 技術料 + 部品代) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

種類	概要	修理料金	
		保証期間内	保証期間外
引取修理 (ドア to ドア)	<ul style="list-style-type: none"> ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 修理料金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。 	有償 (引取料金のみ) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 (引取料金 + 修理料金) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

※ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。



重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

各種お問い合わせ先一覧は、以下をご覧ください。

➔ [「お問い合わせ先」 54 ページ](#)

お問い合わせ先

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。
（注） エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●製品に関するご質問・ご相談先（エプソンインフォメーションセンター）

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8700

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-507-6474へお問い合わせください。

●エプソン プラスワンサービス *一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのホームページでご確認ください。

“電話だけではわかりにくい” “もっと深く知りたい” などのご要望にお応えする有料サービスです。

○遠隔サポートサービス

インターネットを介してお客様のパソコン画面をオペレーターのパソコンに表示し、画面共有しながら操作・設定方法などをアドバイスさせていただきます。有料サービスです。*サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/es/>

【電話番号】050-3155-8888

○上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2788へお問い合わせください。

○おうちプリント訪問サービス

2つのメニューをご用意。ご自宅にお伺いする有料サービスです。

・おたすけサービス：製品の本体設置や、無線LANの接続・設置などを行います。

・ホームレッスン：製品の使い方、パソコンから写真印刷する方法などのレッスンをを行います。

*サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/houmor/>

【電話番号】050-3155-8666

○上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2944へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/>

○上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

松本修理センター：0263-86-7660/鳥取修理センター：0857-77-2202

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

*一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのホームページでご確認ください。

050-3155-7150

○上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 <http://www.epson.jp/support/>

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先（エプソンサービスコールセンター）

*一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのホームページでご確認ください。

050-3155-8600

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。 [インターネットでアクセス!](http://myepson.jp/) <http://myepson.jp/> ▶ カンタンな質問に答えて会員登録

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/>）または通話料無料0120-545-1011でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各〇印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 最新の情報はエプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(BIJ) 2016.03